

第 33 回総会アピール

男女が共になってあらゆる分野に女性の積極的な参画をすすめよう！
－すべてにジェンダー平等の視点を！－

本日、連合兵庫女性委員会は第 33 回総会を開催し、2024 年度の活動方針を決定しました。本総会を通じ、私たち一人ひとりが当事者意識を持って、だれもが安心して働き暮らせる社会、連合が提唱する「働くことを軸とする安心社会」を実現するために、以下のことを確認しました。

第 1 は、ジェンダー主流化を推進し、性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などにかかわらず、やりがいを持って働くことのできる職場・社会の実現をめざすことです。

あらゆるハラスメントの根絶や選択的夫婦別氏制度などの法整備を重視し、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）、ジェンダーバイアス、固定的性別役割分担意識の払拭と「性的指向・性自認（SOGI）を尊重した、差別のない「真の多様性」が根付く職場・社会の実現に向け、労働組合として実効性のある対策に取り組んでいきます。

第 2 は、職場・労働組合における男女平等参画、ジェンダー平等の推進と、働く場での均等待遇の実現、男女間賃金格差を是正するなどの取り組みを積極的にすすめることです。

女性が多くを占める非正規雇用労働者やひとり親家庭など、社会的弱者への深刻な影響が続いています。職場、労働組合、政治、経済などあらゆる分野に女性の意見を届けるとともに、指導的地位に占める女性の割合を国際水準も意識しながら引き上げていかななくてはなりません。

そのためにも、重要な政策・制度の意思決定過程への女性参画を促進し、その影響評価をおこないながら政策などに反映させていく「ジェンダー主流化」を推進していきます。

第 3 は、連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズⅠをふまえて策定した、連合兵庫「ジェンダー平等推進計画」フェーズⅠの着実な推進に向けて、労働組合における男女平等参画を女性だけが担うのではなく、組織全体で取り組むメインストリームとなるように、認識共有を図っていきます。男女が共になって、女性の積極的な参画をあらゆる分野で推し進めていくためには、あらゆる分野にジェンダーの視点を取り入れることが重要です。

私たちは、すべての人が希望を持ち安心して働き暮らせる社会、そして、多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会の実現をめざしていきます。私たち一人ひとりが主体となって行動していきましょう！

2023年11月18日
連合兵庫女性委員会第 33 回総会